

令和7年度 新入寮生歓迎会 講演会

◆講師 齊藤 淳さん

1969年遊佐町生まれ。酒田東高校出身で上智大学外国語学部卒。
米・イェール大学助教授、元衆議院議員。現在 J PREP 代表取締役

◆演題 『故郷を思い、世界を見据え起業する』

Think locally, study globally, and act pragmatically』

皆さん入学おめでとうございます。「おめでとう」を英語で言うと Congratulations になります。必ず複数形で使って下さい。この語源は皆さんと一緒に喜ぶ、それが沢山、ということから来ています。

よく、Think globally, act locally, と言います。世界のことを考えて、地元で活躍しようという意味ですが、私はこれがどうしも好きになれません。現実離れしていると思うのです。人間の想像力には限界があって自分で経験したことしか深く共感できないものです。

私と皆さんは山形県出身という共通点があります。まずは地元のことを考える、これを出発点に、大学4年間で学ぶ、職業を通じて学ぶ、また学びの機会は世界中に広がります。地元から出発して学び続けるということをテーマにお話を始めたいと思います。

私の場合は、故郷のことを考えながら世界中で学んだりして、最終的に起業という選択肢を選びました。自分自身、この年になってもまだ成長途上であり、失敗したり学んだりしながら日々成長しているつもりです。挫折した経験などを共有しながら皆さんが東京で学生生活をする中で何かヒントになればと思います。

私は遊佐町で生まれました。実家は酒田の米農家でした。小学1年生の時 1976年10月29日に酒田大火がありました。グリーンハウスという映画館から出火し、約3000軒の家が焼けました。父は消防団員として徹夜で消火活動をしました。翌日、父と焼け跡を見て、その時子供ながらに故郷の喪失感を覚えました。何とかしなくてはならない、と思いました。程なく酒田北港にある大工場が解散して多くの人が失業したり、地域経済には深刻な影響がありました。復興には時間がかかり、不況が続きました。これが後々、自分が大学で何を学ぶかに大きな影響を及ぼしました。最終的には経済学や政治学を中心に学び、開発経済学のゼミに属していま



した。途上国の農業地域が工業化して豊かになってゆく過程を研究しながら、自分の地元の将来について考えていました。

父は、「これからは大規模農業だ」との志を持ち、80～90年代では県内で一番広い面積の田んぼを耕作する農政改革派でした。最近では米不足が取り沙汰されていますが、私も色々思うことがあります。父の田んぼを継ぐことと、故郷をなんとか経済的に元気にしたいということ、しかし単に継ぐだけではなく勉強したいとも思いました。私が中学生の時ですが、学校新聞コンクールで文部大臣賞と総理大臣賞を2年連続受賞しました。その時自分は文才があるのだと勘違いしました。一方ではジャーナリストとして世界中取材して歩く夢と、田んぼを継がなくてはならないという思いとで揺れ動いた10代、20代でした。

上智大学時代にはカリフォルニア大に留学したり、東京の進学塾で英語の講師をしたりしながら大学院に通っていました。この時代、東京都と地方の教育格差に問題意識持っていました。進学塾で教えていて、自分で工夫したらもっと良い教育効果のある教育機関を作れるのではないかと考えていました。ただその時は自分自身が留学する課題があったので、あくまで頭の片隅でアイデアだけ温めていました。

イエール大学に留学、そして 国会議員になったり大学に戻ったり・・・

1998年からイエール大学の大学院で学ぶことになり、当時は1週間に3000ページもの英語の論文を読む生活をしていました。

当時、私はイエール大学に授業料をいくら払ったと思いますか？

総額でマイナス3000万円くらいですかね。授業料免除で、生活費も奨学金として貰っていたのです。皆さんも専門的な研究をしたい人は大学4年間良い成績をあげ、国内の大学院に進学するなら理工系は良いのですが、他の分野であればお金のある欧米の大学・大学院の奨学金付きの留学をお勧めしたいですね。ちなみにイエール大学の経済学部博士課程では1年目から月に5000ドルの生活費をもらえるのです。皆さんも自分のキャリアを生かすためには色々情報を集めて良い選択をしてください。

イエール大学の大学院博士課程4年の時、博士論文を提出すれば博士号を取って大学に就職できる状況でしたが、色々ありまして日本の国会の選挙に出る道を選びました。加藤紘一さんが政治資金問題で辞職した時、2002年の補欠選挙で当選したのが私でした。加藤さん相手に戦うことになる状況では出馬したい人などほとんどいないという状況で、民主党の公募で声がかかり引き受けたのです。当選3週間前に長女が生まれました。当選したとはいえ、次の選挙に備えて活動するのは大変です。次の選挙では落選しましたし、選挙で出来た借金もありました。家族も嫌がります。最終的にアメリカの大学に戻る決断をしました。

イエール大学に戻った後、大学総長が来日する時、首相官邸で小泉首相の対談で通訳がいなかったというので私に白羽の矢が立ちました。その後イエール大学で博士号を取り6年間教えました。

私は政治学が専門でしたが、教えるかたわら学生寮の寮監を3年間していました。中間試験の時期、学寮に住んでいる学生に夜食を提供する伝統があります。私は寿司を振る舞いました。

学寮では夜10時の時報が鳴ると学生は皆部屋に入ってくるのです。ひとしきり食べて雑談し、その後は図書館に戻り、夜を徹して多くの学生が試験勉強に励むのです。また、イエール大学では教員食堂というものがありません。学生食堂で教員も食事することになっていて、ランチもディナーもタダ券が配られました。大学の考え方として「学問は教室だけで学ぶものではない」ということなのです。授業で学ぶこと以外のインフォーマルな様々な工夫の上に学問が成り立っているからなんです。ですから1つの学寮には必ず職員が5家族住むことになっていて、私もその一人でした。ちょうど下の子が生まれたばかりで上の子が6歳くらいでしたが、小さい子供たちと寝食を共にするアメリカの学寮では学生も悪いことをしなくなるのです。

私の専門的な研究の話をしてします。選挙制度改革で定数格差を是正したことで地方税交付金や国庫支出金の凸凹がだいぶ均質化され、都市部に補助金が向かうことになりました。山形県にとっては良いことではないのですが、これで国の財政のやり方が変わりました。

この写真は、私が書いた「自民党長期政権の政治経済学」という本で日経新聞の経済図書文化賞を貰いました。そこまでは経済学者に与えられるものでしたが、政治学者として受賞したのは私が初めてだったと思います。その研究は、新幹線や高速道路が通ると選挙での得票率がどうなるかデータを集めて検証したものです。新幹線が通ると与党の得票率が5%ほど下がります。地図に落としてみると分かりますが、1993年に自民党が分裂した時の選挙では、離党した議員のほとんどが新幹線沿線に選挙区がある人が多く、小沢一郎、武村正義しかりです。当時は地図上の情報をベースに政治状況を分析する学者は私しかいなかったのです。その後、2011年3月の東日本大震災の後には大学でチャリティ・シンポジウムの司会などをしました。その時は2万ドルくらいの募金を集めて赤十字社に寄付しました。

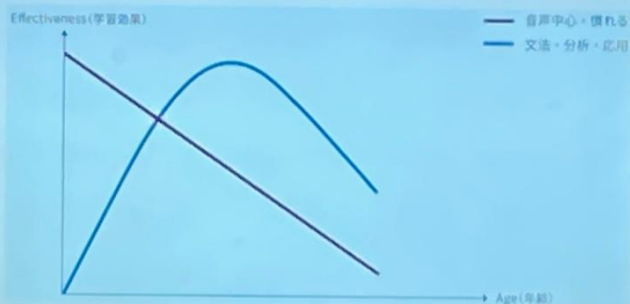
帰国してから英語塾を起業し 海外でも活躍する人を育成

そんな時、母が病気したので帰って来てくれと連絡があり、大学をやめて帰国しました。帰国した時は国内の大学からもオファーがあったのですが、好きなことをしたいと思い起業しました。酒田と東京で、小学1年生から高校3年生までまんべんなく英語を教えました。鶴岡にも出張してマンションのコミュニティルームの一室で生徒3〜4名に教えていました。この育英会の寮生だった田中あやさんも卒業生の一人です。

仕事をしていて一番楽しいのは卒業生を訪問することで、初期の卒業生は人工知能を開発していたり、アップルで働いている人もいたりしています。特にコロナ前は毎年海外にいる卒業生訪問の旅に出て、庄内米のバックとか味噌汁などを持って大学に行って配っていました。私のところの卒業生がどこにいるかというと、ハーバード大、ペンシルバニア大、ウィリアム大、スワスモー大などいろんな大学に行っています。



学習者の年齢特性



さて、皆さん英語は得意ですか？ どちらかという
と苦手な人が多いようです。私の会社 JPREP は現
在、東京 8 校舎、酒田 1 教室で指導を行っています。
応用言語学の基礎を簡単に紹介します。外国語を身に
つけるとき、何に気をつけるか、どんな教え方が大事
かということです。外国語を学ぶ時に気をつけるべき
ことは第一に大切なのは生徒の年齢です。写真は年齢
によってどんな練習が効果を上げるかを表したグラ
フですが短時間で多くのスキルを身につけるのが分
かります。

言葉の練習というのは音声中心に慣れるというのがあり、はっきりしていることは小さい子
供が得意で、年齢が上がるにつれて効率が落ちていきます。それに対して文法は小さい子供は
ほとんど得意ではなく、大学入試あたりまでに詰め込むと効果的と言えます。これを理解し
て勉強するカリキュラムが大切になります。

具体的な例を挙げますと、生後 6 ヶ月の赤ちゃんは L と R の区別が誰も教えなくともでき
ると言われています Light と Right の違い、日本語を母語とする家庭で育つとエルとアール
の区別をしないですよね。だから 1 歳を過ぎると L と R の区別がわからなくなるのです。とこ
ろが、小学 1 年生に L と R の区別を練習すると音声の感受性が高い時期ですし、口の動きが柔
らかく、耳の働きも良いので一発でできるのです。

しかし、小学 3、4 年生になるとローマ字を習います。そうすると「らりるれろ」が L と R
のどちらでも良くなり混乱してくるのです。それを放置して高校生になりリスニングの試験が
あると「L と R の区別が難しかった」となる。L と R の違いを練習させると高校生は小学 1 年
生の 10 倍もの時間がかかります。口の動きが化石化して動かなくなり耳の聞く力も落ちてく
るので、音声の基礎は早めにやった方が良いでしょう。

皆さんも外国語を習うときは顎のストレッチと頬の筋トレから始めると良いです。日本語の
中でも山形弁は口の動きが少ない方ですからまずは口の動かしから始めましょう。

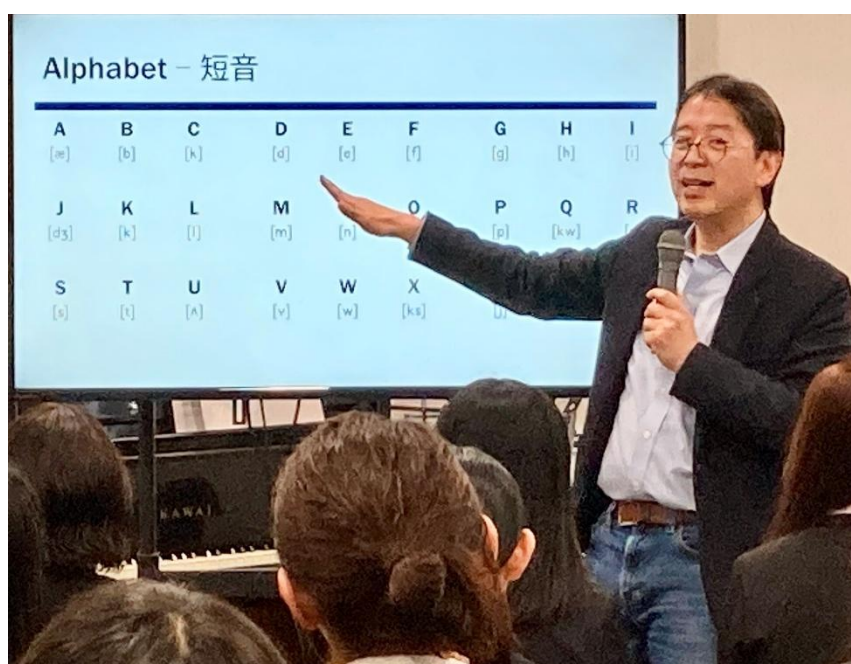
では、文法はどうか、小さい子は苦手です。ある程度学年が進んでからやるべきです。
昭和の英語教育がなぜ失敗したかと言いますと、音声の基礎を教わるべき時期に、教わらず小
学校でローマ字を習ったのをベースにしたため嫌いになったのです。私も鳥海中学校 1 年の
中間テストが最初の英語の試験でしたが、まわりを見ても呪文を唱えるようにして必死に単語を
覚える人が沢山いました。音をきちんと学ばなければいけないのです。

皆さんは長い音しか習っていない？

では英語を母語とする人はどのような学んでいるかを少し話します。私の長女は今年 5 月にニ
ューヨーク大学を卒業します。私が落選して程なく渡米したので長女が 2 歳の時でした。その
時、現地の保育園に預けたのですが 2 歳くらいで識字教育が始まります。文字と音がどう繋が
っていくかを理解していくための教育です。

実は英語圏の中では大人でも失読症、文字が読めない学習障害を持つ方が大勢います。日本語は平仮名とカタカナという文字と音がほぼ一対一で対応する表音文字がありますが、英語はそうではないので文字と音との関係が杜撰にできているのです。歴史的にそうなっているのです。どうしてか、と言うとローマ・アルファベットはイタリア語を表記する文字です。それがノルマン人が英国を侵略した時、キリスト教とともに元々別の文字で表記していた文字をローマ字に置き換えたわけです。それがもとで音と表記がズレたわけなんです。英語圏の大人でも結構読めない人が多い。それが皆さんは外国語として学ぶわけですから無理があるのです。

ではどうやっていくかですが、まず識字教育から始まります。アメリカの小学1年の教育はフォニックスで文字をどう読むか、から始まります。1年生の授業参観に行くとびっくりします。みなさん、school は知っていますよね、アメリカでは scol や skul とかでも許容されるのです。導入なのでいい加減でもよく小学3、4年生になると正確なスペルで読めるようになるのです。



大量の読書と作文を通して文法の細かなところを押さえてゆくのです。

これを参考に組み立てると、小さい時からフォニックスから入って、小学3、4年生から多読指導を始めると小学6年までには英検2級まで苦労なく上達します。そうでない人は中学1年くらいで発音の基礎をしっかりとってから文法を詰め込んだほうが最終的には早いです。

「フォニックスって何？」といえば、英語学習に全般に役立つ文字と音の対応関係のルールです。アルファベットには長い音と短い音があるのです。皆さんは長い音しか習っていないのです。長い音をきちんと発音するのは英語学習では重要です。例えばピアノなどを習う時はスケール（音階）を練習します。私の娘のピアノの先生はひたすら基本の練習をしっかりとやれば、どんなバリエーションでどんな曲でも弾けると言っていました。英語についても発音を綺麗にしたい人はアルファベットを綺麗に発音します。シーかシーか、日本語は歯の後ろに舌を当てる言語ですが歯茎に当てて発音すると「中目黒」が「ナカメグロウ」と英語っぽくなる。

アメリカの小学校でも母音で終わるのは長く読み、子音で終わる音節は短く終わる。これを覚えておくと皆さんの発音は良くなります。

皆んながハッピーになれる価値を

私の運営している J PREP ではどんな指導をしているかというと、日本語を母語にしている講師と、英語を母語としている講師が交代で教えています。日本語を使って英語を理解するための説明をするのと、英語を母語にする講師が英語を使う練習相手になるのと、両方の練習を繰り返しているのです。

あとはビデオ教材だけでなく IT を駆使した発音練習機能など、様々なアプリを私たちは早い時期から導入しています。ですから、弊社のプラットフォーム開発エンジニアは酒田と東京の2ヶ所で仕事をし、ベトナムにも30人規模で開発チームがあります。

共通テストは今年は難しかったようなんですが、全国平均と我が社の生徒の成績を比較しますとリスニングが全国平均61%に対し弊塾の生徒は94%、読解力では57%対97%でした。きちんと教えると皆さんの実力はここまで伸びます。まずは音から入る、そうでないと単語を覚えるのも文法覚えるのにも苦労します。英語が苦手という人は、音をきちんと学ぶ練習した方が良いでしょう。

ちなみに私が英語が出来るようになったのは、酒田の鳥海中学校2年の時、英語弁論大会の学校代表になり、夏休みに毎日学校に通い、発音記号の一つ一つを正確に発音できるように指導を受けたおかげです。それ以降は音読も含めて英語が得意になりました。

J PREP のことをもう少し話します。

2013年から2024年の期間で、アメリカの大学に157名、カナダの大学に45名、イギリスに17名、その他各国11名で合計230名の卒業生が海外大学に進学しました。日本国内の大学に進学しても、大学院から留学すれば授業について行けるから大丈夫にしておく、そのような指導をしています。

今月で生徒数が1万人を超えるまでに成長しました。起業したときは生徒数20名、年商2000万円たらず。社員は私一人で、時給は200円程度でした。自分は何を考えてやっているんだ、と後悔したこともありました。今は外国籍の従業員が20数%で、幹部社員の男女比も半々、従業員総数800名に成長しています。会社の経営は、消費者、従業員、取引先、地域社会に貢献し、皆んながハッピーになれる価値を作ることが考え方の核心になるのです。これが順調にゆけば会社経営もうまくいくと考えています。

皆さんも大学やこの寮で4年間学び、日本の、山形の何を守って発展させていくかをぜひ探求していただきたいです。(会場から大きな拍手)

【質疑応答】

Q. 私は教えるのが好きなので将来の自分が教員になるか塾で教えるか悩んでいます。

A. 今の日本の教育政策のプライオリティは公立の学校をいかに強化して行くかだと思います。そんな中で私立学校を助成して無償化することを議論していますがナンセンスです。あとは少子化の問題が進行しているので地域の中で役割を果たせるか的问题があります。

また、学校で教えるだけでは成り立たなくなっている時代でもあり、大学2年生ならインターンシップやアルバイトで現場を見る機会があるはずなので見学したりして選ぶことを勧めたいです。

Q. 日本では英語重視の動きが高まっているが、気になっているのが日本語の教育。日本語と英語の共存についての考えをお聞きしたい。

A. 問題意識を共有しているな、と感じます。先日も知人と話しましたが、英語教育よりも問題にシなくてはならないのは日本語教育です。新宿区のある学校の学校だよりはなんと10ヶ国語で出しているそうです。国民統合の観点からは日本語の音声をしっかり教えるのが大事。最近の日本語教育は実用日本語が重視されていますが、古典を学ぶことが軽視されています。古典の知識というのは重要です。

もう一つ、英語と日本語の大きな違いは、英語は演説の文化で政治家や文化人の名演説というのがケネディ、オバマ、スティーブ・ジョブズなど直ぐに浮かびます。日本語教育の中には演説が入っていない。イギリスのイートン校などでは演劇が必修科目です。それを通じてプレゼンテーションを学ぶ、パブリック・スピーキングという公の場で話すことです。これも国語教育で強化しなければならない分野の一つです。

Q. 今の時代、日本も世界も変わっていくと思います。歴史で学んだことが直ぐに役立つでもないし、今の考えが未来で役立つかも分からない。全てにおいてこれが正しいと思えるような理念みたいなものはあるのでしょうか。

A. 2つあると思います。1つは科学的思考が大切でしょう。間違った情報を排除していくのがそうで、誤った仮説を排除しデータを見たりモデルを作ったりして検証してゆく思考が必要です。

2つ目は、人生はうまくいかないことがある。失敗したときに何が重要か、話します。私はこれまで事実上2つの会社を作り失敗し、今が3番目の会社です。1つ目は議員事務所。2つ目は大学の研究室。3つ目は絶対失敗できないと思いながら経営しています。

とはいえ、人生リスクを取らなくてはならない時があります。失敗しても帰って行けるところがあることが心強いです。やはり故郷が大切なのです。そして、体力。健康が大切なんです。



(文責・写真 理事 菅野昭彦)